

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公開番号】特開 2005-159507 (P2005-159507A)

【公開日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報 2005-023

【出願番号】特願 2003-391939 (P2003-391939)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/00 L

H 0 4 M 1/00 V

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 10 日 (2006.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示手段と、

入力手段と、

画像圧縮伸張処理プログラムの動作により処理される画像と、前記入力手段による入力に対応する、前記画像圧縮伸張処理プログラムの動作を制御するための制御内容とを前記表示手段に表示させる第 1 の表示制御手段と、

無線により着信を検出する着信検出手段と、

前記第 1 の表示制御手段によって前記表示手段が制御されているときに、前記着信検出手段によって着信が検出されると、前記第 1 の表示制御手段によって表示されている制御内容を当該着信検出に対応する制御内容に変更する変更手段と、

この変更手段によって変更された制御内容に対応して、前記入力手段による入力を検出すると、この検出された入力に対応する前記変更された制御内容に基づいて、前記画像圧縮伸張処理プログラムの動作を制御する制御手段とを備えたことを特徴とする携帯電話。

【請求項 2】

撮像手段を更に備え、

前記画像圧縮伸張プログラムは、その動作により前記撮像手段によって撮像された画像を処理することを特徴とする請求項 1 に記載の携帯電話。

【請求項 3】

前記制御手段による制御内容は、前記撮像手段による撮像動作を中断させる制御内容を含み、

前記制御手段によって撮像動作が中断されるまでの前記撮像動作による撮像データを記

憶する記憶手段を更に備えたことを特徴とする請求項 2 に記載の携帯電話。

【請求項 4】

前記着信検出手段は音声着信を検出し、

前記変更された制御内容は、音声通話処理に対応する制御内容を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れかに記載の携帯電話。

【請求項 5】

前記着信検出手段によって着信が検出されると、この検出された着信に対応する発信者情報を前記画像と共に表示するよう前記表示手段を制御する第 2 の表示制御手段を更に備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れかに記載の携帯電話。

【請求項 6】

前記制御手段による制御内容は、前記着信検出手段によって検出された着信に対応する発信者との音声による通信処理を一定時間保留する制御内容を含むことを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の携帯電話。

【請求項 7】

前記制御手段による制御内容は、前記一定時間の保留について、その動作を更に延長させる制御内容を含むことを特徴とする請求項 6 に記載の携帯電話。

【請求項 8】

コンピュータを

画像圧縮伸張処理プログラムの動作により処理される画像と、入力部からの入力に対応する、前記画像圧縮伸張処理プログラムの動作を制御するための制御内容とを表示部に表示させる第 1 の表示制御手段、

無線により着信を検出する着信検出手段、

前記第 1 の表示制御手段によって前記表示手段が制御されているときに、前記着信検出手段によって着信が検出されると、前記第 1 の表示制御手段によって表示されている制御内容を当該着信検出に対応する制御内容に変更する変更手段、

この変更手段によって変更された制御内容に対応して、前記入力部からの入力を検出すると、この検出された入力に対応する前記変更された制御内容に基づいて、前記画像圧縮伸張処理プログラムの動作を制御する制御手段

として機能させることを特徴とする表示制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】携帯電話、及び、表示制御プログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、携帯電話、及び、表示制御プログラムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明の課題は、撮影動作等による画像表示の際、予期しない着信検出があっても、ユーザにとって理解しやすい応答動作をガイダンスすることができる携帯電話、及び、表示

処理プログラムを提供することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

請求項1記載の発明は、入力手段と、画像圧縮伸張処理プログラムの動作により処理される画像と、前記入力手段による入力に対応する、前記画像圧縮伸張処理プログラムの動作を制御するための制御内容を前記表示手段に表示させる第1の表示制御手段と、無線により着信を検出する着信検出手段と、前記第1の表示制御手段によって前記表示手段が制御されているときに、前記着信検出手段によって着信が検出されると、前記第1の表示制御手段によって表示されている制御内容を当該着信検出に対応する制御内容に変更する変更手段と、この変更手段によって変更された制御内容に対応して、前記入力手段による入力を検出すると、この検出された入力に対応する前記変更された制御内容に基づいて、前記画像圧縮伸張処理プログラムの動作を制御する制御手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項2記載の発明は、上記請求項1記載の発明において、撮像手段を更に備え、前記画像圧縮伸張プログラムは、その動作により前記撮像手段によって撮像された画像を処理することを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項3記載の発明は、上記請求項2記載の発明において、前記制御手段による制御内容は、前記撮像手段による撮像動作を中断させる制御内容を含み、前記制御手段によって撮像動作が中断されるまでの前記撮像動作による撮像データを記憶する記憶手段を更に備えたことを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項4記載の発明は、上記請求項1乃至3の何れかに記載の発明において、前記着信検出手段は音声着信を検出し、前記変更された制御内容は、音声通話処理に対応する制御内容を含むことを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

請求項 5 記載の発明は、上記請求項 1 乃至 4 の何れかに記載の発明において、前記着信検出手段によって着信が検出されると、この検出された着信に対応する発信者情報を前記画像と共に表示するよう前記表示手段を制御する第 2 の表示制御手段を更に備えたことを特徴とする。

【 手 続 補 正 1 0 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 0

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 0 】

請求項 6 記載の発明は、上記請求項 4 又は 5 に記載の発明において、前記制御手段による制御内容は、前記着信検出手段によって検出された着信に対応する発信者との音声による通信処理を一定時間保留する制御内容を含むことを特徴とする。

【 手 続 補 正 1 1 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 1

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 1 】

請求項 7 記載の発明は、上記請求項 6 に記載の発明において、前記制御手段による制御内容は、前記一定時間の保留について、その動作を更に延長させる制御内容を含むことを特徴とする。

請求項 8 記載の発明は、コンピュータを、画像圧縮伸張処理プログラムの動作により処理される画像と、入力部からの入力に対応する、前記画像圧縮伸張処理プログラムの動作を制御するための制御内容とを表示部に表示させる第 1 の表示制御手段、無線により着信を検出する着信検出手段、前記第 1 の表示制御手段によって前記表示手段が制御されているときに、前記着信検出手段によって着信が検出されると、前記第 1 の表示制御手段によって表示されている制御内容を当該着信検出に対応する制御内容に変更する変更手段、この変更手段によって変更された制御内容に対応して、前記入力部からの入力を検出すると、この検出された入力に対応する前記変更された制御内容に基づいて、前記画像圧縮伸張処理プログラムの動作を制御する制御手段として機能させることを特徴とする。

【 手 続 補 正 1 2 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 2

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 2 】

本発明によれば、画像表示中に予期しない着信があった場合、画像と共に表示されている制御内容が応答処理内容に切り替わるので、ユーザに撮影動作を継続させつつも着信時の応答処理内容を理解しやすく表示させることができる。

【 手 続 補 正 1 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 3

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

【 手 続 補 正 1 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 4

【 補 正 方 法 】 削 除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】